

安倍政権の暴走をゆるさない!

革新懇運動の前進で「状況を創ろう」!

私たちは今日から結成16年目の活動を開始します。丸15年間の活動から新しい節目の活動に入る時、今まで積み上げてきた歩みに確信を持ち、決意新たに奮闘しましょう。

今、世界も日本も情勢は激動しています。オバマ大統領のシリアへの軍事行動は国際世論の反対で当面は見送られることになりましたが予断を許しません。新たにアメリカの深刻な予算・財政問題が浮上、世界経済への波及が懸念されます。日本では今年7月の参議院選挙で自民・公明党の圧勝、共産党の躍進、民主党の激減、第三極諸政党の不振という新しい政治情勢が生まれました。90年代以降政・財・マスコミ界が音頭をとってきた二大政党路線が破たんしたことが明らかになりました。

安倍政権は衆参両院の圧倒的多数と今後3年間は国政選挙がない情勢で、一気に「暴走」しようとしています。やろうしていることは、「憲法9条改悪・集団的自衛権の政府解釈変更」「消費税増税」「解雇自由の雇用制度改悪」「秘密保護法案策定」「社会保障諸制度改悪」「原発再稼働と原発輸出」「TPP参加」「オスプレイ配備増加・辺野古新基地建設」など目白押しですが、どの問題でも国民多数の願いに逆らうものです。

安倍政権の空前の規模での平和、民主主義、国民の暮らしを破壊する暴走を阻止するため、あらゆる分野で大きな反対運動が巻き起こっています。来年4月から国民への消費税増税と大企業減税実施、福島原発汚染水の「完全にコントロール、完全にブロック」のウソ発言、密室協議のTPPの年内合意などに対して国民の怒りが高まっています。国民各界各層で共通する一点で共闘するという新しい共同の形も強まり、無党派層と連帯する革新懇運動への期待も高まっています。堺市民は「堺はひとつ」「堺を守る」「堺のことは堺で決める」を合言葉に竹山市長を選びました。市民各層が共同して大阪都構想反対の意思を示しました。

損保産業は他産業には見られない三大メガの寡占化産業となりました。90年代以降既にTPPの先取りともいえる自由化・開放業種になり、新自由主義・市場原理主義型の収保規模拡大・効率化・利潤第一主義産業へ突き進んでいます。NKSJ社では本年度から実質合併を進め、4800名要員削減で効率化を図ろうとしており、その第一次としてNK SJ社合わせて200名の希望退職が発表されました。職場では「NK側にしわ寄せが来るのでは」と不安を募らせています。東京海上日動火災はJA共済連と業務提携に向けた協議に入りました。損保市場に影響が及ぶことも予測されます。AIGでは700名もの希望退職募集を行い、ついでAIUと富士火災の合併も発表されました。この中で雇用の多様化がすすみ、勤務体制・賃金体系改悪・賃金水準低下・代理店手数料引き下げなど損保で働く労働者と代理店の犠牲のもとで再編・効率を進めています。私たちは損保産業と損保企業のブラック化に反対し、監視と運動を強めます。

今年11月16・17両日、全国革新懇全国交流会が大阪で開催されます。多くの仲間の参加でこの集会を成功させましょう。二日目の職場革新懇交流会は初めてシンポジウム形式で開催されます。私たちは今までの活動を報告し、全国的な職場革新懇運動の強化と発展を呼びかけます。

極めて残念で、悲しいことですが、私たちの相談役・顧問的な存在だった品川正治さんが逝去されました。総会参加者全員で品川さんの霊に心から哀悼の意を表し、ご冥福を祈ります。

品川さんは今年5月の全国革新懇総会に「激動ではなく、激突の情勢だ。革新懇運動はいやおうなしにその先頭に立たされている」のメッセージを寄せられました。今年4月5日、大阪損保革新懇の仲間から自筆署名入り色紙『状況を創る』をいただきました。品川さんの遺志を受け継ぎ、「私たちが奮闘すれば状況を変えることができる」「もうひとつの日本」は必ず実現できるを合言葉に頑張りましょう。

結成16年目、意義ある一年の活動を開始するにあたって、革新三目標と損保革新懇三座標軸をあらためて確認し、新しい政治の実現を求める多くの仲間とともに連帯して奮闘しようではありませんか。